

TV 報道検証【報道特集】 報告書

テレビ局：TBS	番組名：報道特集	放送日：2019年7月27日
<p>出演者：金平茂紀、膳場貴子、宇内梨沙                  岡田沙也加（気象予報士）、小松久里子（RKB 毎日放送、障害者雇用を取材）                  ※日下部キャスターは香港を取材</p>		
<p>検証テーマ： オープニング、日米貿易協定の事務レベル協議、香港でデモ                  【特集】 謎の白シャツ集団も～混迷の香港</p>		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各地の雨と風の影響で名古屋千種区ではビル外壁が崩落も</li> <li>・オープニング</li> <li>・台風6号が熱帯低気圧に</li> <li>・京アニ放火事件で容疑者は3日前から本社周辺を下見していた可能性</li> <li>・妻殺害事件の夫婦が過去にもトラブルも</li> <li>・日米貿易協定の事務レベル協議</li> <li>・香港でデモ</li> <li>・新潟県で軽トラックが崖下に転落</li> <li>・長崎で「ペーロン競漕」</li> <li>・「相馬野馬追」の出陣式</li> <li>・「土用丑の日」で鰻屋さんに行列</li> <li>・関東では明日にかけ大雨に警戒を</li> <li>・秋篠宮ご夫妻が総合文化祭の開会式に出席</li> <li>・都庁で東京オリンピックメダルを展示</li> <li>・【特集】 謎の白シャツ集団も～混迷の香港</li> <li>・【特集】 わたしの仕事～障害者雇用のあり方</li> <li>・スポーツ報道</li> </ul>		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オープニング：結論→特に問題なし                  番組の冒頭で金平キャスターが「有権者の半分以上が棄権した参院選が終わりました、しかし希望も生まれました。テレビがほとんど取り上げなかったれいわ新選組から二人の障害者の方が議員になりました。介助が必要な重度の障害の方々です。ええ、今の社会に弱い立場に立つ視点から語られることをいのります。特集をぜひとも御覧ください。」とコメントしていた。このコメントに当てられた時間は23秒で放送法上は特に問題は見られなかった。</li> <li>・日米貿易協定の事務レベル協議：結論→特に問題なし                  膳場キャスターの「日本とアメリカの新たな貿易協定に、貿易協定の締結に向けた事務レベルの協議は最大の争点である農産品や自動車について両国の隔たりが改めて鮮明となりました。」というスタジオでのコメントを導入に以下に朱記したVTRが取り上げられていた。                  ナレ「三日間行われた日米の事務レベル競技では対立点の少ないコーヒー豆や鶏肉などに加え、ワインやウィス</li> </ul>		

キーといった酒類などについて議論されました。」

"渋谷和久（TPP 等政府対策本部政策調整統括官）「まあ論点が非常に明確に整理されたということではないかと思えます、お互いの立場が非常によく分かったということはあるのですが。」

ナレ「ただ日本が重要品目と位置づける牛肉や豚肉、アメリカが関税の引き下げに慎重な自動車などについては依然として主張に隔たりがあり、来月初旬に行われる見通しの閣僚級の交渉で議論することになります。」 "

このトピックに当てられた時間は 56 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・香港でデモ：結論→特に問題なし

宇内キャスターのスタジオでの「逃亡犯条例を巡って混乱が続く香港では今日、デモの許可が降りない中、多くの人々が集まり抗議をはじめました。先週のデモ後に参加者らが襲われた事件について警察の対応が遅かったと主張しています。」というコメントを導入に以下に朱記した VTR が取り上げられた。

"森岡紀人（報告）「元朗地区の大通りです。今日のデモ、警察の許可が降りていないんですが、こちらの大通り、デモの参加者で溢れています。」

ナレ「中国本土に近い元朗地区で今日計画されているデモについて警察は許可しないという異例の通知を出しましたが日本時間の午後五時現在、数千人の人達が集まって抗議活動を行っています。元朗地区では 21 日、白い T シャツを着た集団に帰宅中のデモの参加者らが襲われ 45 人が怪我をしており、警察の対応が遅かったと反発を招いております。今日も激しい衝突が起きる可能性があるとして警察は 3000 人体制で警戒にあたっています。デモが予定されていた大通りでは多くの店が臨時休業したり午後から店をしめています。」

このトピックに当てられた時間は 71 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・【特集】謎の白シャツ集団も～混迷の香港：結論→特に問題なし

膳場キャスターの「特集です。デモによる混乱が続く香港に日下部キャスターがいます。日下部さん？」というコメントに対して日下部キャスターが「はい、私がいるのはですね、香港の中心部というより、むしろ中国の深圳に近いところにあるゲンロウという町です。えー警察東京は今日ここで行われるデモ許可を出さなかったんですけども、ご覧のように今も多くの方が集まって来ています。ですけども、通行できない状態が続いていて、線路の上をデモ隊の人が歩いている。そんな状況です。今日のデモは、これまで香港で行われてきた一連のデモとは、意味合いが少し異なります。混乱に拍車をかけるような新たな、事態が発生したからです。香港で今、何が起きているのか、取材しました。」というコメントで特集の導入がなされ、以下に朱記したように VTR が取り上げられていた。

【VTR 1】

"デモ隊「香港を救え！！」「我々の訴えを聞け！」

ナレ「昨日も激しいデモがあった香港。国際空港の中でも、」 "

日下部「えー逃亡犯条例に反対する空港での抗議活動ですけども、時間が経つにつれてですね、どんどんどんどん人が増えています。到着ロビーは、黒い T シャツを着た人たちで埋め尽くされています。」

ナレ「デモには、空港職員も参加していた。」

"空港職員（吹替）「空港管理局の実習生です。」

日下部「空港でやることの意味ってどこにありますか？」

空港職員（吹替）「香港国際空港には、多くの観光客が行き来しています。彼らの国に僕たちのメッセージを持ち帰って、香港の状況を広めてほしいんです」 "

"客室乗務員（吹替）「客室乗務員です。」

客室乗務員（吹替）「私たち 3 人ともそうです。」

客室乗務員（吹替）「3 人とも、妊婦です。次の世代のために、声を上げているんです。」 "

ナレ「中国本土に、容疑者の引き渡しができるようになる逃亡犯条例の改正。先月、香港政府が改正を事実上断念。しかし、完全撤回を求める若者たちのデモは、収まる気配がない。そんな中、」

ナレ「現れたのは、デモ隊を襲撃する謎の白シャツ集団。その正体は・・・」

### 【VTR 2】

ナレ「今週日曜、デモの矛先は、中国政府に向けられた。出先機関の建物の前に、およそ 1000 人の若者が集まって、卵を投げつけ、中国の国章に黒い液体をかけた。」

ナレ「香港政府トップの林鄭行政長官は、国家の主権への挑戦だと、責任を迫及する姿勢を示した。」

日下部「えー香港では本当毎週のようにデモが行われているんですけども、この場所にはですね、抗議活動には来ないという、暗黙の了解みたいなものがあったわけですけども、21 日の夜、多くの若者たちが、この建物を取り囲んで、あの国章に向かってですね、ペンキを投げつけるという、非常に北京を刺激するような、事態が起きたわけです。」

"ナレ「建物の、清掃をしていた人は、」

清掃業者（吹替）「若者は幼くて、理性を失っている。全く、法律もルールも守らない。」 "

ナレ「同じ日の夜、香港北西部の地下鉄、元朗駅でも事件が起きた。」

日下部「この駅ですけども、非常にこの真新しい、感じのするきれいな、駅です。たぶんですね、ここが白いシャツの集団の男たちが、一斉にこのシャッターをこじ開けてですね、駅に乱入した場所だと思われます。」

ナレ「現場に居合わせた人が撮影した映像。白いシャツを着た男たちが、駅のシャッターをこじ開けて乱入し、デモの参加者であることを示す黒いシャツを身に着けた人を襲撃する様子が写っている。集団は、棒や傘を手に、地元メディアの女性記者を襲撃した。」

地元メディアのスタッフ（字幕）「生放送で今、中継しています。女性記者が白い服を着た人に囲まれ殴られました。」

ナレ「ホームに降りた集団は、停車中の地下鉄の車両になだれ込んだ。乗客からは悲鳴が上がる。車両に乗り合わせていた民主派の林議員。デモに参加した後、騒動を聞き、駅に駆け付けたところを襲われた。」

ナレ「今週水曜、取材に応じ、当時の状況を語った。」

民主派林卓廷立法會議員（吹替）「手の骨は折れています。口の中と外を合わせて、18 針縫いました。頭は何度も殴られました。」

ナレ「林議員の事には、事件の二日前にデモ隊を襲撃する計画があるという情報が入り、警察に通報をしていたという。」

日下部「警察の対応をどう思いますか？」

林議員（吹替）「一回目の襲撃では、2 人の警官が現れましたが、すぐに U ターンして帰って行きました。2 回目の襲撃があり、大勢の機動隊が来て、村の入り口を封鎖しました。それなのに、男たちを逮捕しようともせず、身元を確認もせず、全員を返したのです。」

ナレ「香港政府による統治はもはや限界だと、林議員は語る。」

林議員（吹替）「香港政府には、統制する力がありません。林鄭行政長官は、デモ隊の行動を批判することしかしていません。彼女の下で、香港の道徳観は、徐々に破壊されつつあります。」

日下部「えー私の後ろがですね、元老院です。周りには、真新しい超高層マンションが立ち並んでいます。ただ、

目を一転しますと、まったく違った世界が広がっています。非常に古びた街並みですけども、これは香港がですね、イギリスの植民地になる前から、このあたりに住んでいた人々たちの集落ですね。こういった背景を理由にですね、黒社会がこういった地域ではびこってきた。そういった歴史があります。」

ナレ「香港で長年根を張ってきた反社会的勢力、黒社会という。この黒社会の組織にいた男性に話を聞くことができた。白シャツの集団から、襲撃に加わるよう、誘われたという。」

黒社会の組織にいた男性（吹替）「直接会って、誘われたんです。私も昔その世界にいましたから。昔の仲間に棒で人を襲おうと誘われましたが、断りました。私は学生を支持しています。」

ナレ「男性は、警察と白シャツ集団に、何らかのつながりがあるのではないかとほのめかした。」

男性（吹替）「消防士も救急車もいたのに、警察だけ到着しないのは、絶対におかしい。警察は信用できません。私が話せるのは、ここまでです。」

ナレ「事件を巡っては、親中派の何議員が、白シャツの男たちと襲撃の前に握手していたことが明らかになり、事件への関与を追及されている。火曜日に放送された放映テレビ局の討論番組に、渦中の何議員が出演した。司会と民主派の議員から、襲撃事件への関与を問い詰められた。」

何議員（吹替）「確かに、握手した相手を知っていますが、彼が襲撃したところを見たわけではありません。」

司会（吹替）「あなたから、白シャツ集団に襲撃しないよう、行ってもらえますか？」

民主派朱議員（吹替）「あなたは、黒シャツのデモ参加者と握手せず、白シャツの人たちと握手したんでしょう？その人たちに呼び掛けてほしいんだよ。」

何議員（吹替）「あなたこそ、議会に暴力を持ち込み、それを倍増させている。人間の屑です」

ナレ「白シャツの男たちとの関係をはぐらかしたまま、途中で席を立った何議員。番組で何議員を問い詰めた朱議員は、根拠のないフェイクニュースを流されたり、嫌がらせを受けることが増えたという。」

朱議員（吹替）「街を歩いているだけで、罵声を浴びるし、襲撃される可能性もあります。黒社会が暴力を仕掛けてくるかもしれないので、怖くて家に帰れません。」

ナレ「身の危険を感じるこの状況にあっても、デモを続ける意義について、こう話す。」

民主派朱凱（吹替）「デモを続けることが大切です。デモに参加しなければ、黒社会に屈服したことになります。黒社会の脅迫行為の裏には、北京政府の指示があるはずですよ。もし指示が無ければ、こんなことは起こりません。」

ナレ「白シャツ集団による襲撃事件が起きた元朗。事件のあと、街には、変化があった。」

日下部「平和と自由を訴え続けたジョン・レノンにちなんで、それぞれの思いを込めた小さなメッセージカードを貼るですね、レノンウォール。今、香港の至るところで見ることができるんですけども、襲撃事件があったここ元朗にも、レノンウォールが出現しました。」

ナレ「柱には、『元朗のために何ができるか、一度ここに来てみないか』というデモへの参加を呼び掛けるメッセージがかかれています。さらに」

日下部「一連の抗議行動の中でですね、4人の若者が、すでに抗議のための自殺をしているんですけども、こちらにはですね、『失望はできても、絶望はするな』と書いてあります。そしてこちらには、メンタルケアのための、QRコードですか、こういうのも、張り出されているわけですね。」

ナレ「事件の現場となった元朗では、週末に警察の対応に抗議するデモが計画されている。これに先立って、平和的なデモを呼び掛ける集会が行われていた。」

女性（吹替）「次の土曜日、あの、200万人デモと同じように、理性を持って平和にデモをしていきたいです。私たちは衝突を仕掛けるわけではありません。」

デモ隊（字幕）「元朗人頑張れ！！元朗を愛してします。」

ナレ「しかし、香港の警察当局はおととい、抗議デモの実施は認めないと警告した。」

香港警察の会見（吹替）「この通告の後、もしデモに参加する人がいたら、それは明らかに違法行為です。もし一般人が、事件に巻き込まれ、けがをすることになったら、とても遺憾です。」

ナレ「香港紙にコラムを寄稿する政治評論家の王氏は、中国の立場について、こう話す。」

日下部「あの、10月1日は、中国の建国70年ですよ。その時もまだ、香港混乱していて、北京は、良いんですかね？」

政治評論家 王岸然氏（吹替）「林鄭行政長官が、10月になっても辞めない場合、香港人は彼女に大きな贈り物をすると思います。200万人規模のデモです。香港で中国の今の政権に反対するデモが行われれば、どうなるか、それを国民に知らせるのか、その時、考えることになるでしょう。」

ナレ「それでも、中国政府が、香港のデモの鎮圧に乗り出すことはないともみている。」

王氏（吹替）「もし中国本土だったら、最初から軍隊を出して鎮圧したでしょう。彼らは香港を、国を尊重しないところだと思っています。でも一国二制度を無くし、軍を派遣するという決断には、まだまだ至らない。そういうことは絶対に無いと思います。」

ナレ「そして、今日、デモが予定されている地区では、」

日下部「えー元駅朗駅にほど近い、香港の先住民とも言うべき人たちが暮らす、村落です。そしてあの建物の、二階から上の部分。襲撃に備えてでしょうか。窓にですね、木の板が、はめ込まれています。」

ナレ「建物の周辺では、警察官が巡回していた。普段はにぎわっているはずの市場も、」

日下部「まあデモがあるということで、かなりこうやって、お店、休んでいますね。シートをかぶせたり、シャッターを閉めたままのお店が多いですね。」

鮮魚店の女性（字幕）「それぞれの店の判断で、（営業するか）決めている。従業員がけがをしたら、何百万ドルのお金がかかってしまう。」

ナレ「昼過ぎ、デモの出発地点とされている公園に、大勢の警察官が。警察当局は今回、デモも参加することを違法行為だとしている。」

日下部「違法行為をすることになりますけど、何か工夫してるんですか？」

38歳男性（字幕）「デモではない。旅行で来ている。」

ナレ「この男性のように、旅行という名目でこの場所に来る人もいた。」

18歳女性（字幕）「私たちが立ち上がらないと、香港人の人権がなくなる。警察に捕まっても怖くない。」

特集を受けて、スタジオと中継の間で以下に朱記したやり取りが繰り返された。

膳場「再び香港の日下部キャスターです。日下部さん香港の今の状況、どうなってますか？」

日下部「はい、デモの現場ではですね、15分ほど前に大きな動きがありました。盾をもったですね、数百人規模の警察の部隊、これをご覧いただけるでしょうか。今もですね、デモ隊に向かって、歩いて行っています。えーどんだんだんだ、デモ隊をですね、押し返すような状況です。えー先ほどまではですね、えーデモ隊とにらみ合う状況だったんですけども、また少しずつ、警察の部隊がデモ隊を押し返すような状況です。えーこれから催涙ガスなどを使った強制排除が行われるのか。現場は非常に緊迫した状況となっています。東京どうぞ。」

金平「あの一昨日下部さんね、えー白色テロという言葉がありますよね。あの一日本とかアメリカでも、あったんですけども、今後この香港のデモの情勢ってのは、どういうふうになると思われませんか？」

日下部「あの一今日のデモを見ているんですけども、参加者の要求がどんどん増えているんですね。単に逃亡犯条例の完全撤廃だけではなくてなくなってしまったということで、非常に先が見えない状況です。ただ10月の1日は中国の建国記念日、国慶節です。今年は建国70年の記念すべき年で、今の香港の状況、北京にとっ

## TV 報道検証【報道特集】 報告書

でも好ましい状態ではありません。ですから香港政府といろいろやり取りはしているんだと思います。結論から言うと、北京政府が全てを決め、香港政府はそれに従うだけ。私思うにこれが、香港が抱える最大の悲劇だと思います。以上、香港から中継でした。」

このトピックに当てられた時間は 1129 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特になし

検証者所感

特になし